



学修成果証明書

学科・コース名

氏名

保育科

山梨学院短期大学

山梨学院短期大学 学修成果証明書

本学では、専門職として社会に貢献しうる力を卒業時に学生が確実に身につけることを目標に、教育活動に取り組んでいます。本学修成果証明書は、学生が身につけた「専門的知識(Professional Knowledge)」「専門的実践力(Professional Performance)」「総合的人間力(Total Abilities)」の評価結果を提示するものです。

基本情報

学籍番号	
氏名 (フリガナ)	
学科・コース名	保育科

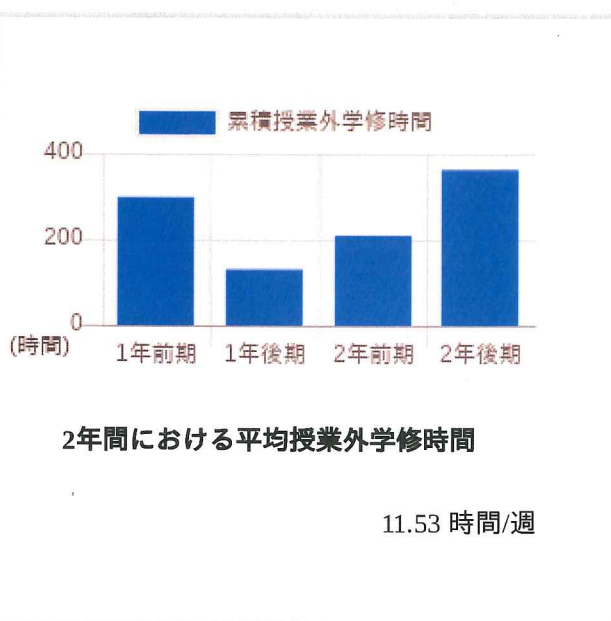
学位・資格等

学位	短期大学士 (保育学)
資格・免許	保育士資格 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状 認定ベビーシッター(公益社団法人全国保育サービス協会) 認定ピアヘルパー (NPO 日本教育カウンセラー協会)

卒業レポート

テーマ	音楽と映画の場面での関係性 ー映画「菊次郎の夏」と主題音楽「Summer」の2つの作品を通してー
卒業演習担当教員	

● 授業外学修時間の記録



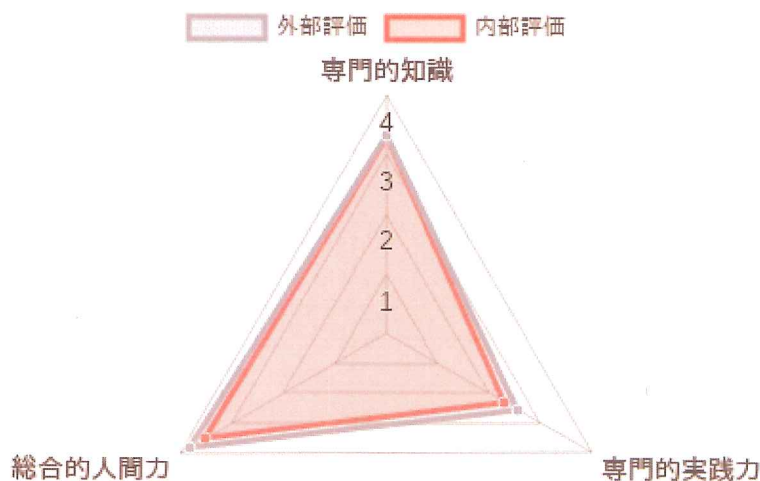
● 特記事項

学友会執行部に所属し、副会長を務めた。文化祭では子ども向けのブースを作り、子どもたちと多く交流した。

ゼミ活動では、音楽を用いた大型絵本の読み聞かせ会を幼稚園児対象で行った。

2年間の学修成果のまとめ

● 学修成果レーダーチャート



専門的知識	内部評価		専門的知識に関する授業科目のGPA
	外部評価		保育科専門的知識外部試験（保育士試験の筆記試験に準拠した試験）100点満点 2018年度平均点（本学）65.2点
専門的実践力	内部評価		専門的実践力に関する授業科目のGPA
	外部評価		保育科専門的実践力外部試験 30点満点 2018年度平均点(本学) 21.8点
総合的人間力	内部評価		総合的人間力に関する授業科目のGPA
	外部評価		ボランティア活動

● ボランティア活動記録

No	年月日	活動内容	活動時間
1	2017/09/23	サッカーの試合の運営補助	7:00
2	2017/10/27	スケートの大会の運営補助	8:30
3	2018/06/09	やまなし食育推進ボランティア	10:00
4	2018/12/15	障害者支援施設でのイベントの利用者支援	5:00
5			
6			
7			
8			
9			
10			

上記の通り、相違ないことを証明します。

2019年3月15日 山梨学院短期大学

※本学修成果証明書は、平成28年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム（AP）」選定事業である「PROPERTIES」の取組の一環として作成しました。

備考：2年間の学修成果のまとめ指標について

内部評価：GPAについて

成績評価の基準に対して、本学では成績の表示及びGP（グレードポイント）を右のとおり定めている。GPの平均値としてGPA（グレード・ポイント・アベレージ）を算出する。「専門的知識」「専門的実践力」「総合的人間力」のGPAは、それぞれに対応づけられた授業科目のGPAである。

区分	成績評価基準	表示	GP
合格	90~100点	④	4.0
	80~89点	A	3.0
	70~79点	B	2.0
	60~69点	C	1.0
不合格	59点以下	D	0.0
	試験放棄等	-	0.0

専門的知識外部評価：保育科「専門的知識外部試験（保育士試験に準拠）」について

「保育士試験」は、保育士（国家資格）取得のための試験（指定試験機関：一般社団法人全国保育士養成協議会）であり、筆記試験と実技試験によって実施される。筆記試験は「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」からなる。本学保育科では、これらの筆記試験に準拠した試験を専門的知識外部評価の指標としている。

- 問題数：
 - ①過去4回分の保育士試験（筆記試験）の「保育原理」「教育原理及び社会的養護」「児童家庭福祉」「社会福祉」から計40問（各2.5点×40問=100点）
 - ②過去4回分の保育士試験（筆記試験）の「保育の心理学」「子どもの保健」「子どもの食と栄養」「保育実習理論」から計40問（各2.5点×40問=100点）
- 試験時間：①・②各80分
- 評価：素点。①・②両方で60点以上の場合、合格とする。

専門的実践力外部評価：保育科「専門的実践力外部試験」について

本学保育科では、2年間の学びを経て身につけた「専門的実践力」が、実際の保育の現場、すなわち、子どもとのかかわり、保育者との協働、保護者への支援等の場面における細やかな「気づき」として表出するものととらえている。本試験では、学外の保育者が評価者となり、この専門的実践力を直接評価する。

- 課題：幼稚園等において一定期間、保育を行う。学生が行う保育実践全般を評価対象とする。
- 評価視点：
 - ①保育における気づきの早さ・的確さ
 - ②気づいたことに対する行動力
 - ③気づいたことに対する意識の持続性
- 評価：学外の幼稚園等の保育者複数名による評価（10点×3視点）の素点

総合的人間力外部評価：ボランティア活動について

本学では、ボランティア活動への参加を通して、学生がマナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身につけ、豊かな人間性を培うことができると考え、ボランティア活動を総合的人間力外部評価の指標としている。「真に社会に貢献しうる力」を身につけることができるよう、2年間を通じてボランティア活動を行うことを推奨している。